

遠軽町まちづくり会議 5年間の経過

R3年3月15日（月）18時30分～

遠軽町役場3階

丸瀬布中央公民館

白滝総合支所



遠軽町まちづくり会議の概要

【発足】

平成28年度、合併特例法に基づく「地域審議会」が10年の期限を終えたことに伴う後釜として「まちづくり会議」を設置

町政全般に関し、住民と意見交換する会議に位置付け

【構成】

旧町村の区域ごとに10名以内を委嘱

【設置期間】

5年間（H28～R2） 第1期H28～H30、第2期R1～R2



平成28年度の経過

- 第1期委員40名（各地域10名）を委嘱
- 「生田原・遠軽」「丸瀬布・白滝」の合同会議を各1回開催
- 町から新たな道の駅、町民センター、スポーツ広場、高規格道路延伸などについて情報提供
- 町長からまちづくりに関する講話
- 「子どもの遊び場について」「農業支援」「学校の統廃合」「転入者対策」などについて意見交換



平成29年度の経過

■今年度のまちづくり会議の開催方法

今年度は、各地域まちづくり会議で1～2回会議を開催してまちづくりへの提言をまとめていただき、全体会議で発表していただきました。

生田原地域 8月4日 9月27日	遠軽地域 8月7日 9月4日	丸瀬布地域 8月9日 9月7日	白滝地域 7月31日
-------------------------------	-----------------------------	------------------------------	----------------------

4地域の会議でまちづくりに対する提言のまとめ

全体会議 11月6日

各会議の代表者が提言を発表

■各地域まちづくり会議の提言項目

地域	提言項目
生田原地域	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け体験イベントの開催 公共交通を絡めたスタンプラリーの開催 湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会生田原コースの創設 大学と連携して農業労働力を確保
遠軽地域	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティラジオ局の開設 保育士、介護士の待遇改善 全町合同運動会の開催
丸瀬布地域	<ul style="list-style-type: none"> 子育てがしやすく若者が定住するまちづくり(保育サービスの充実、公営住宅整備、子ども医療費の無償化) 観光振興による地域活性化(道の駅まるせっぷにキャンピングカーを誘致、大平高原の整備と活用、大規模林道再開)
白滝地域	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・人手不足対策 買い物・外食対策 環境美化・整備

遠軽地域からの提言

コミュニティラジオ局の開設

地域の情報を音で伝える発信方法として、ラジオに着目し、地域ラジオ局の開設を提言します。

遠軽町には、すでに良いものや良いところがたくさんあることをみんなで再認識しました。特産品や観光資源に魅力がないのではなく、その魅力を伝える「情報」を届けることがより必要です。

町では広報紙やホームページで情報を発信していますが、お年寄りや仕事で忙しい方にはなかなか見ていただけていません。ラジオなら、家事や屋外での作業中にもつけばなしにしておくとも自然に情報が伝わりますし、車で移動中も聴くことができます。運営に町民参加を得ることで、地域の情報サロンとして機能し、地域コミュニティの活性化も期待できるのではないのでしょうか。

また、最近では、北朝鮮のミサイル発射問題でJアラートが注目されていますが、防災情報をいち早く届けるという効果も期待できます。



発表 平野委員

生田原地域からの提言

公共交通を絡めたスタンプラリーの実施

広い町内をつなぐ公共交通は、高齢化が進む今後、今まで以上に重要になっていきます。

しかし、車が普及し、利用者が少なくなったことで便数が減り、不便になり、さらに利用が減るという悪循環に陥っています。なんとか公共交通の利用を増やさない、交通弱者が住めない町になってしまいます。



発表 遠藤委員

この対策として、公共交通に乗って町内の観光スポット回りをしてもらったスタンプラリーを提案します。

公共交通の利用促進とともに、町内に点在している魅力的な場所をつなげ、周遊してもらうことで経済効果を生むことが望めます。

丸瀬布地域からの提言

道の駅まるせっぷにキャンピングカーを誘致

道の駅まるせっぷにキャンピングカーを誘致することを提案します。露伴ところ、高規格道路の延伸で、道の駅まるせっぷの利用者が前年比40%ぐらいに減っています。

今後、この数を増やしていくための方策として、ここ13年ほどの間に倍増しているキャンピングカーにターゲットを絞ってはどうかと思えます。

キャンピングカーは、中高年の方がよく利用していて、同じ場所に長期間滞在するといった傾向にあります。キャンプ愛好者同士のネットワークにより、口コミでの広がりも期待できるのでないでしょうか。



発表 柳田委員

白滝地域からの提言

買い物・外食対策

白滝地域は、Aコープが閉店し、生鮮食料品を地域内で買うことができません。車を運転できる人は遠征などで買い物できますが、できない人は移動販売車や宅配サービスを利用するしかなく、不便を感じています。

同時に市街地唯一の食堂も無くなっています。公共交通も便が少なく不便です。一方で、お店を維持するには地域の方たちが、買い物をして支える必要がありますが、これまでうまくいかなかったこともあり、町の支えなどが必要と考えます。



発表 大久保委員



平成30年度の経過

地域まちづくり会議

遠軽地域 10月22日	白滝地域 10月24日	生田原地域 10月26日	丸瀬布地域 11月14日
----------------	----------------	-----------------	-----------------



遠軽町まちづくり会議全体会議

全体会議

12月17日 遠軽町福祉センター

■第1部 まちづくりワールドカフェ

①子育て環境 ②災害対策 ③移住・定住
④観光・農林業 ⑤教育・文化 ⑥医療・福祉
の6つのテーマで4～5人の小グループでメンバーチェンジをしながら対話しました。

■第2部 まちづくり会議報告会

各地域まちづくり会議での議論や第1部のワールドカフェでの意見交換について、委員から報告。町長が報告に対して講評を行いました。

主な意見等は次頁に掲載。詳しい発言内容や資料などは、町ホームページをご覧ください。http://engaru.jp

■まちづくり会議で出た意見の一部を紹介します

子育て環境



谷口委員

保育士の確保対策

少子化でも子どもが好きなスポーツができる環境づくりを

子どもの医療費負担の軽減を

観光・農林業



関委員

コミュニティラジオで情報発信しては？

宿泊施設を増やす

農林業が基盤

医療・福祉



生田委員

介護人材確保にはイメージの改善を

公共交通を便利に

医師確保を更に

災害対策



岩城委員

冬に大規模停電が起きたときの備えを！！

コミュニティラジオなど災害時の情報伝達手段の確保を

移住・定住



斉藤委員

空家を活用して移住者を受け入れる

外国人の受入

合同企業説明会

町の魅力をもっとPRする！

教育・文化



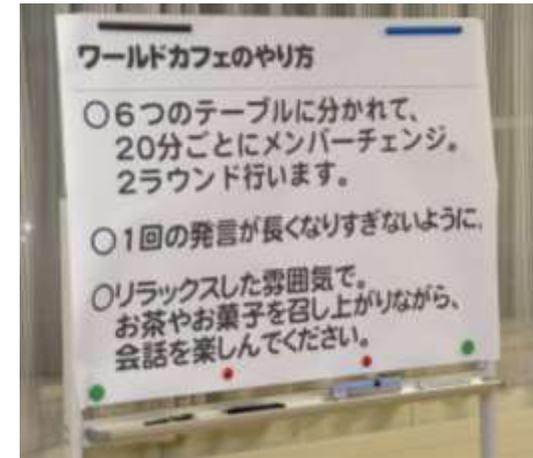
平野委員

「オホーツク文学館」や「えんがるの歴史物語」などいいものをもっと周知

青年活動の活性化

子ども版まちづくり会議を開催

町の一体感のため合同運動会を開催しては？



■町長からの講評

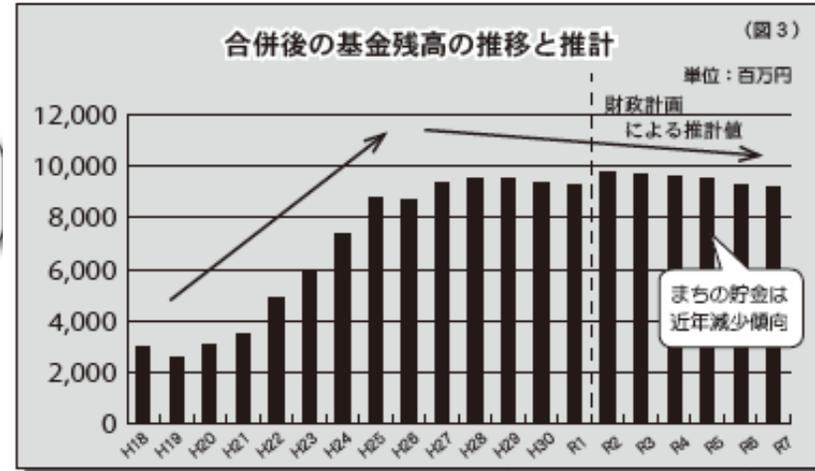
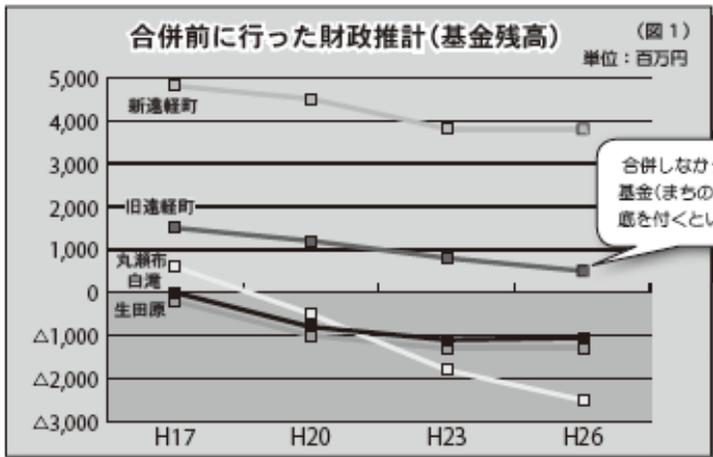
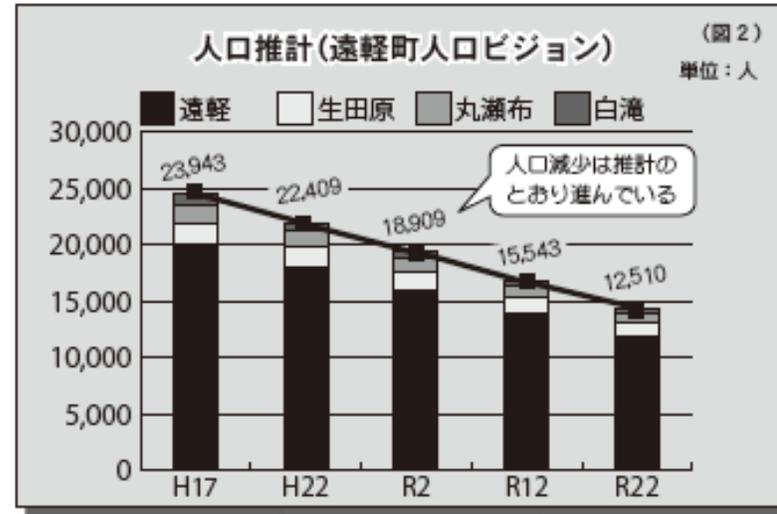
- ・アイデアはどんどん出して。100出して1当たれば良い。
- ・意見のほとんどが、これまでの町や議会での議論と同じ方向性を持っている。皆さんと課題は共有できていると感じた。4地域の一体感などの考えも共有されていて心強い。
- ・現在編成している新年度予算案も大幅な財源不足となっている。人口減少など抱えている課題に対応していくためには、スクラップすることも必要。



▲まちづくり会議の報告に対して講評をする佐々木修一遠軽町長

令和元年度の経過

- 第2期 委員32名委嘱
- 町長講話
- 会長、副会長の選任



令和2年度の経過

- 地域において会議を各1～2回開催
- 地方創生や財政改善に向けた意見交換

